

答

活動人口とは、地域に對する誇りなどを持ち、地域づくりにいきいきと活動する者である。令和4年7月の開設を目指す（仮称）ひと・夢・未来創造拠点複合施設を活動人口増加のための象徴的な拠点施設として位置付け、活動の連鎖を巻き起こしたい。

真鍋 顕 伸 議員



- (議案質疑)
- 1 中小企業等チャレンジ支援事業・電子商品券発行事業について ほか5件

事業者へ

できる限りの支援を！

問

長期化するコロナ禍に對して、今回の支援事業だけで、本市の産業を下支えする小規模事業者、農林水産事業者へじゅうぶんな支援が行き届くのか。

答

中小企業等チャレンジ支援事業において事業者などの新たなチャレンジを積極的に支援し、体質強化を図ることで、事業継続や雇用維持につながるものと考えている。

佐々木 充 議員



- (二般質問)
- 1 令和3年成人式について
 - 2 学校給食における食材納入業者の選定方法について

市内業者の選定を！

問

学校給食調理施設集約後の食材納入業者は、どのように選定するのか。

答

選定方法などは今後検討することとしており、その中で良質な食材の安定的な確保と市内業者との連携が可能な食材調達のおしくみについて研究していきたい。

西条市民

クラブ

佐伯利彦 議員



- (議案質疑)
- 1 環境保全型農業直接支援事業について
 - 2 市単独道路改良事業について
- (二般質問)
- 1 コロナ禍における新しい避難の在り方について

避難にも新しい発想を！

問

新型コロナウイルス感染症により、災害時の避難においても3密を避ける対策を講じるなど、全く新しい発想で避難を考える時が来ている。

コロナ禍における新しい避難の在り方について、市はどのように考えているのか。

答

本市においては、災害時の分散避難に對する市民の理解促進を図るため、ホームページへの掲載などにより周知を行っており、分散避難をしたかたの安否確認などについては、最寄りの指定避難所へ報告するよう、防災説明会で説明している。

併せて、指定避難所においては、コロナ禍における避難所運営に必要な対応マニュアルを策定し、運営シミュレーションの実施や感染症対策などの資機材整備を進めているところである。

また、他市で活用例のあるアウトドアテントについては、感染防止策や分散避難の一つの方法ではあるが、テントを張る際のルールづくりなどの課題もあるため、今後研究していきたい。



防災訓練の様子

公明党

西条市議員

高橋 淑子 議員



- (二般質問)
- 1 光触媒技術による新型コロナウイルス感染症対策について

光触媒技術への助成を！

問

光触媒による抗ウイルス効果が注目されている。今後、個人事業主に對し、光触媒技術に関する助成制度を導入する考えはあるのか。

答

現時点で、同技術による新型コロナウイルス感染症への有効性評価に関する情報が国から示されていないため、助成制度の導入は考えていないが、今後も国などの動向を注視していきたい。